

---

# 直方市の高齢者を取り巻く現状

---

平成 29 年 7 月

直 方 市

# 目 次

1. 人口・高齢化の状況 .....	1
(1) 市の人口や高齢化率の推移 .....	1
(2) 高齢化の状況 .....	3
(3) 世帯の状況 .....	4
(4) 日常生活圏域別の人口・世帯状況 .....	5
2. 要介護認定の状況 .....	7
(1) 要介護認定者等の状況 .....	7
(2) サービス受給者の状況 .....	9
3. 施設等の整備状況 .....	11

# 1. 人口・高齢化の状況

## (1) 市の人口や高齢化率の推移

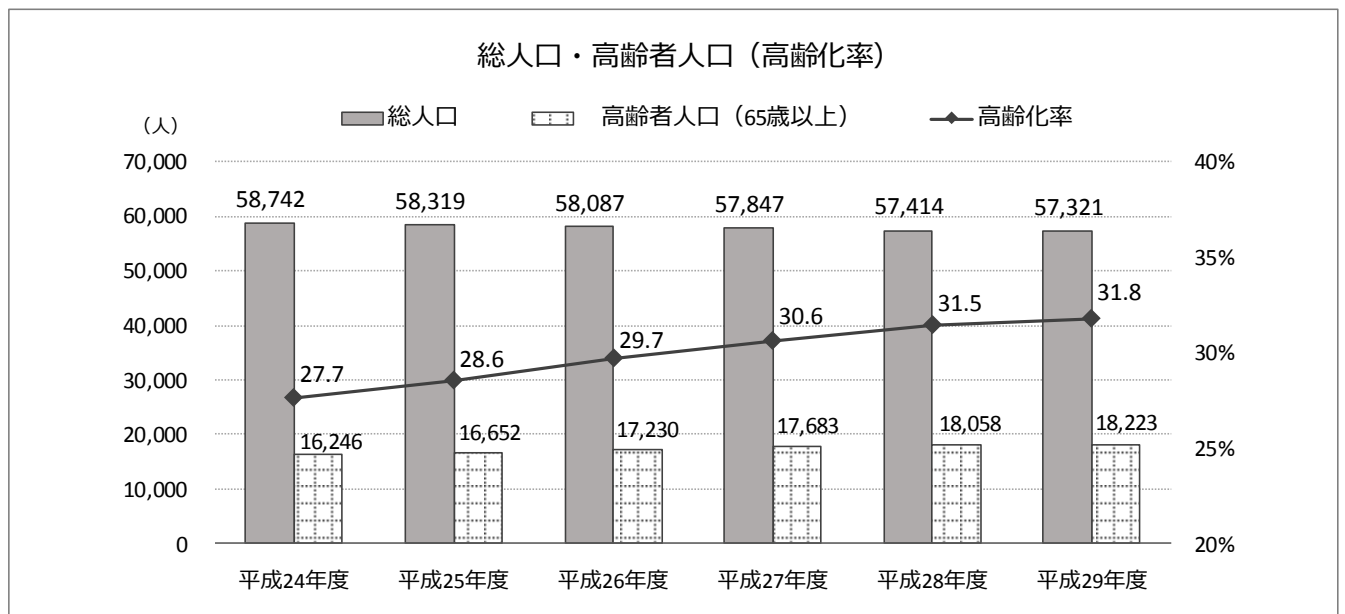
市の総人口は、平成24年度から平成29年度の推移をみると、約5年間で1,421人減少し、平成29年4月1日現在で、57,321人となっています。年少人口及び生産年齢人口は減少、高齢者人口は増加しており、少子高齢化が進行しています。また、現役世代である生産年齢人口1.7人で1人の高齢者を支えることとなります。

平成29年度の高齢者人口は18,223人、総人口に占める割合(高齢化率)は31.8%となっています。その内訳は前期高齢者が8,786人、後期高齢者が9,437人となっており、総人口に占める後期高齢者の割合は16.5%となっています。

【市の総人口・年齢区分別人口の推移】

	第5期計画期間			第6期計画期間			増減 (29年度-24年度)
	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
総人口	58,742	58,319	58,087	57,847	57,414	57,321	-1,421
年少人口(0-14歳)	7,596	7,618	7,600	7,579	7,546	7,554	-42
生産年齢人口(15-64歳)	34,900	34,049	33,257	32,585	31,810	31,544	-3,356
高齢者人口(65歳以上)	16,246	16,652	17,230	17,683	18,058	18,223	1,977
前期高齢者(65-74歳)	7,921	8,191	8,537	8,746	8,757	8,786	865
後期高齢者(75歳以上)	8,325	8,461	8,693	8,937	9,301	9,437	1,112
高齢化率	27.7%	28.6%	29.7%	30.6%	31.5%	31.8%	4.1ポイント
後期高齢化率	14.2%	14.5%	15.0%	15.4%	16.2%	16.5%	2.3ポイント

資料：住民基本台帳（平成24年度～平成28年度は10月1日現在、平成29年度は4月1日現在）

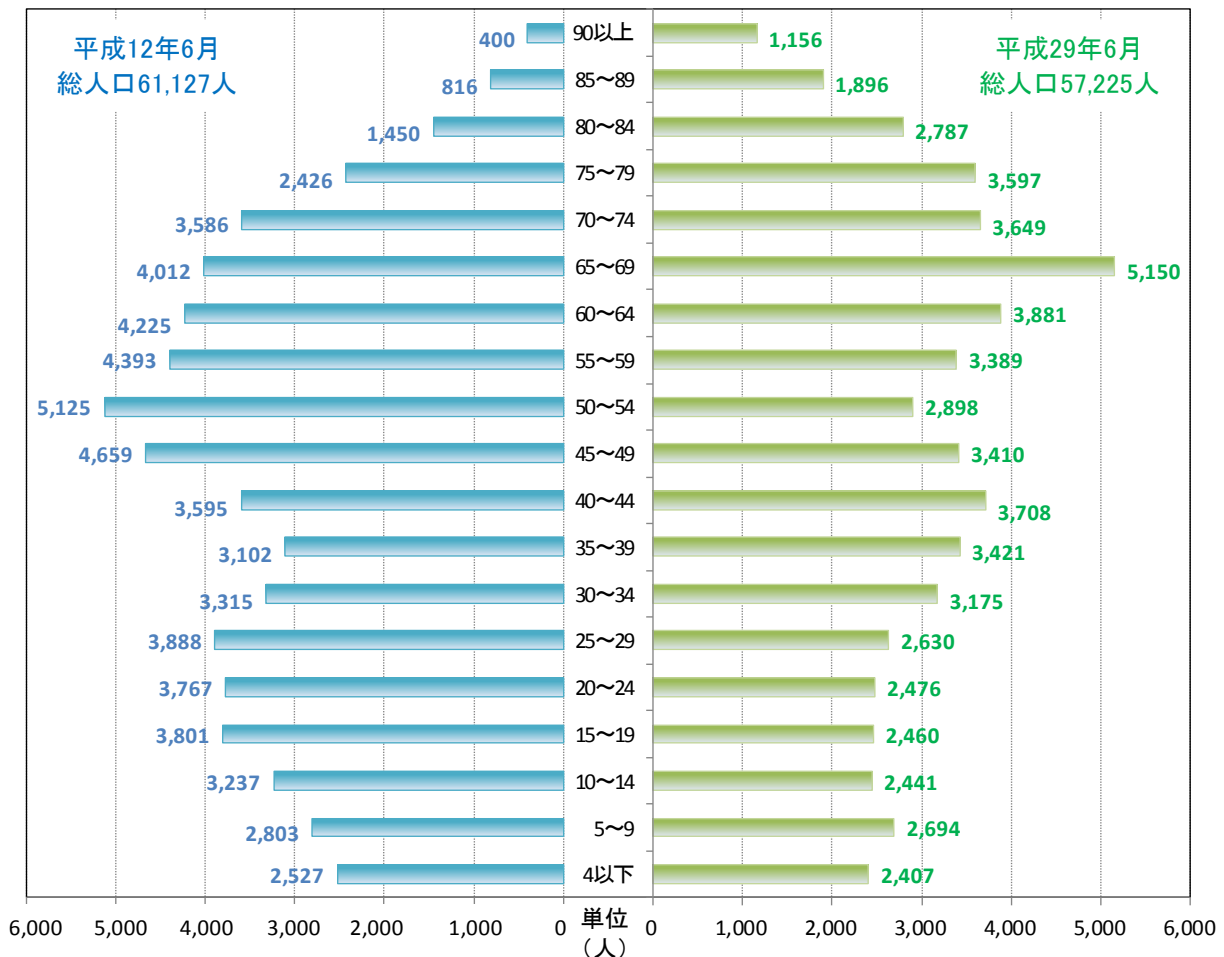


平成12年の介護保険制度創設時から現在（平成29年）までの人口ピラミッドの変化をみると、平成12年では50～54歳のいわゆる「団塊の世代」が最も突出しており、その後、出生率の低下や平均寿命の延伸などにより、人口ピラミッドは典型的な少子高齢化を示すつぼ型へと推移しています。そのため、高齢者を支える医療や介護の需要は年々増加してきたことがうかがえます。

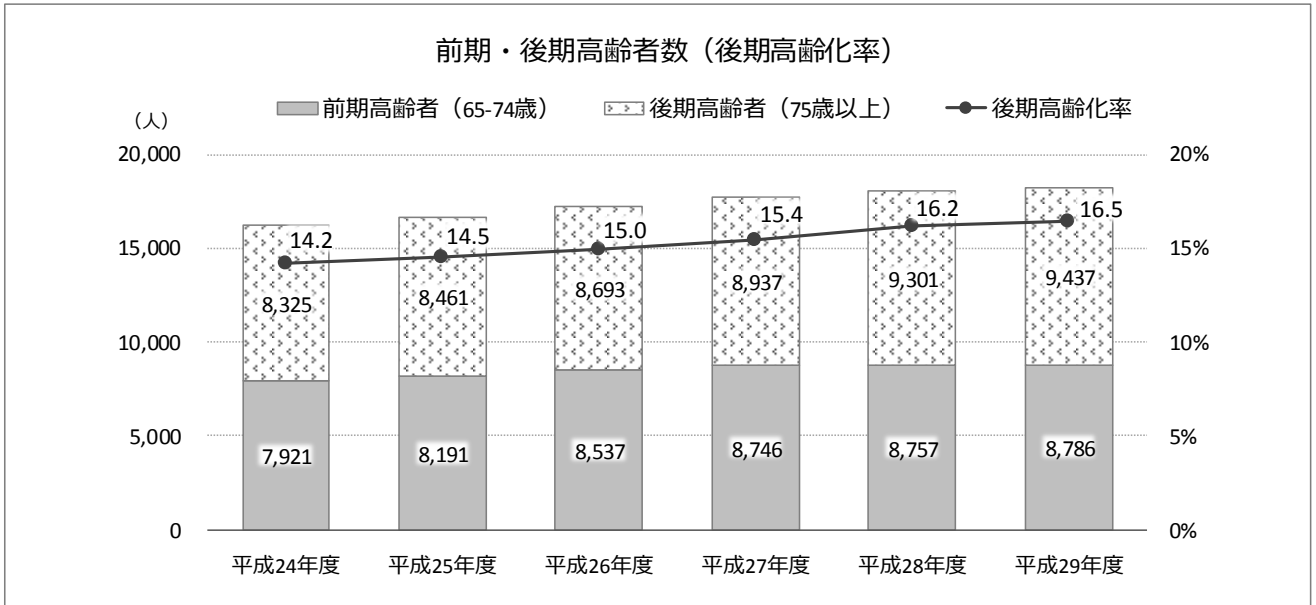
【市の総人口・年齢区分別人口の推移②（介護保険制度創設時との比較）】

	制度創設時	現在	比較
	平成12年6月	平成29年6月	
総人口	61,127	57,225	△ 3,902
年少人口(0～14歳)	8,567	7,542	△ 1,025
生産年齢人口(15～64歳)	39,870	31,448	△ 8,422
若年人口(15～39歳)	17,873	14,162	△ 3,711
第2号被保険者(40～64歳)	21,997	17,286	△ 4,711
高齢者人口(65歳以上)	12,690	18,235	5,545
前期高齢者(65～74歳)	7,598	8,799	1,201
後期高齢者(75歳以上)	5,092	9,436	4,344
高齢化率	20.8%	31.9%	11.1%
後期高齢化率	8.3%	16.5%	8.2%

【年齢区分別人口ピラミッド（介護保険制度創設時との比較）】



【前期・後期高齢者人口の推移】



(2) 高齢化の状況

本市の高齢化率は、平成 27 年度に 30%に達しており、平成 29 年度では 31.8% となっています。一方で国の高齢化率は平成 28 年度で 27.3%、福岡県は平成 29 年度で 26.2%です。さらに、平成 24 年度から平成 29 年度までの増減をみると、福岡県では 3.5 ポイント増、本市では 4.14 ポイント増となっています。以上のことから、国や福岡県と比べて本市の高齢化は急速に進行していると言えます。

また、本市を含む直方・鞍手圏域（直方市・宮若市・鞍手町・小竹町）の平成 29 年度の高齢化率は 33.2%と県内でも 3 番目に高い高齢化率となっています。最も高齢化率の低い福岡・糸島圏域の 21.3%とは 11.9 ポイントの差が生じています。

【高齢化率の推移比較】

	第5期計画期間			第6期計画期間			増減 (29年度-24年度) 単位：ポイント	
	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度		
国	24.1%	25.1%	25.6%	26.7%	27.3%	-		
福岡県	22.7%	23.6%	24.5%	25.2%	25.9%	26.2%	3.50	
直方市	27.7%	28.6%	29.7%	30.6%	31.5%	31.8%	4.14	
高齢者保健福祉圏域	有明圏域	29.7%	30.7%	31.8%	32.8%	33.7%	34.1%	4.40
	田川圏域	28.9%	30.0%	31.3%	32.3%	33.3%	33.9%	5.00
	直方・鞍手圏域	28.5%	29.5%	30.8%	31.6%	32.8%	33.2%	4.70
	飯塚圏域	26.7%	27.7%	29.0%	30.0%	31.0%	31.5%	4.80
	朝倉圏域	26.9%	27.8%	28.9%	29.8%	30.7%	31.1%	4.30
	京築圏域	26.2%	27.1%	28.2%	29.1%	29.8%	30.2%	4.00
	八女・筑後圏域	26.5%	27.2%	28.2%	28.9%	29.6%	30.0%	3.50
	北九州圏域	26.0%	26.9%	28.0%	28.8%	29.6%	30.0%	4.00
	宗像圏域	24.5%	25.3%	26.2%	27.0%	27.5%	27.8%	3.30
	久留米圏域	23.4%	24.2%	25.1%	25.9%	26.5%	26.9%	3.50
	糟屋圏域	18.7%	19.6%	20.7%	21.4%	22.0%	22.4%	3.60
	筑紫圏域	18.6%	19.4%	20.4%	21.2%	22.0%	22.3%	3.70
福岡・糸島圏域	18.4%	19.1%	19.9%	20.5%	21.0%	21.3%	2.90	

※ 各市町村において住民基本台帳等に基づき把握した数値を集計

資料：(国) 総務省統計局「人口推計」（平成 24 年度～平成 28 年度は 10 月 1 日現在、平成 29 年度は未公表）

(県・圏域) 福岡県公表資料（平成 24 年度～平成 28 年度は 10 月 1 日現在、平成 29 年度は 4 月 1 日現在）

### (3) 世帯の状況

高齢化の進行とともに、高齢者のいる世帯も増加傾向にあります。平成 27 年度の国勢調査の結果によると、本市の高齢者のいる世帯数は 11,451 世帯、総世帯数（一般世帯数）の 49.3%を占めています。

高齢者単身世帯と高齢者夫婦世帯を合わせた世帯を、高齢者のみの世帯として考えた場合、平成 27 年度の高齢者のみの世帯は 6,762 世帯で、総世帯数に占める割合は 29.1%となっています。

平成 7 年度から平成 27 年度までの約 20 年間の増加率を見てみると、高齢者のいる世帯数は 1.52 倍の増加であるのに対して、高齢者単身世帯では 2.26 倍、高齢者夫婦世帯では 2.34 倍の増加となっており、高齢者のみの世帯の増加が著しい傾向にあることがわかります。

また高齢者のみの世帯の総世帯数に占める割合は、国が 23.1%、福岡県が 22.5%であり、本市の 29.1%は高い割合であることがわかります。

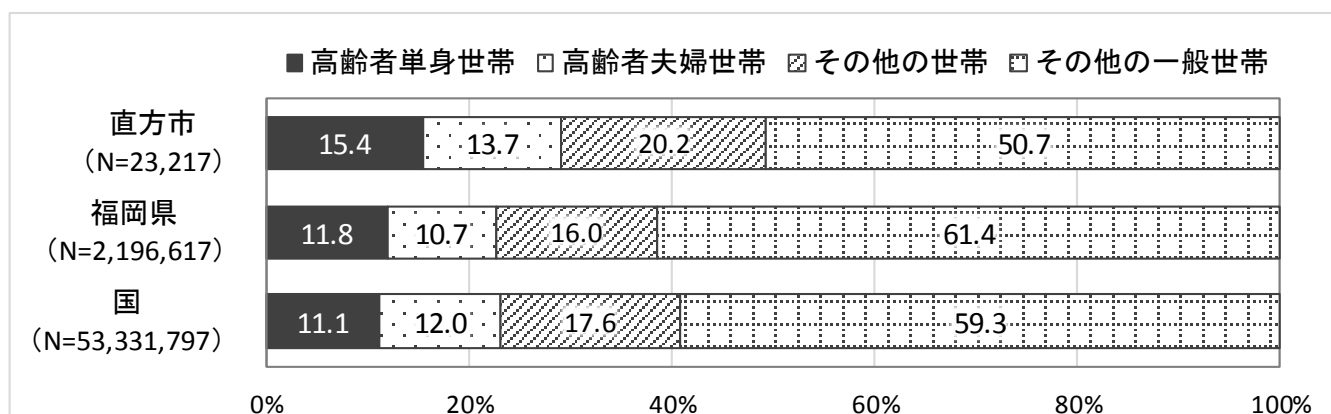
【世帯の状況】

(単位：世帯)

	平成7年度	平成12年度	平成17年度	平成22年度	平成27年度
総世帯数（一般世帯数）	20,921	21,199	21,449	22,606	23,217
高齢者のいる世帯数	7,533	8,659	9,636	10,414	11,451
（総世帯に占める割合）	(36.0%)	(40.8%)	(44.9%)	(46.1%)	(49.3%)
高齢者単身世帯	1,577	2,089	2,555	2,951	3,571
（総世帯に占める割合）	(7.5%)	(9.9%)	(11.9%)	(13.1%)	(15.4%)
（高齢者のいる世帯に占める割合）	(20.9%)	(24.1%)	(26.5%)	(28.3%)	(31.2%)
高齢者夫婦世帯（夫65歳以上、妻60歳以上）	1,361	2,320	2,672	2,949	3,191
（総世帯に占める割合）	(6.5%)	(10.9%)	(12.5%)	(13.0%)	(13.7%)
（高齢者のいる世帯に占める割合）	(18.1%)	(26.8%)	(27.7%)	(28.3%)	(27.9%)
その他の世帯（子と同居など）	4,595	4,250	4,409	4,514	4,689
（総世帯に占める割合）	(22.0%)	(20.0%)	(20.6%)	(20.0%)	(20.2%)
（高齢者のいる世帯に占める割合）	(61.0%)	(49.1%)	(45.8%)	(43.3%)	(40.9%)

資料：国勢調査

【国・福岡県・直方市の世帯比較（平成 27 年度）】



## (4) 日常生活圏域別の人口・世帯状況

本市では、地域包括ケア推進の単位となる日常生活圏域について、4 圏域で設定しています。それぞれの高齢者数等の推移を比較すると以下ようになります。

I 地区（新入・植木校区）は、総人口が 11,407 人と市の中で 2 番目に人口が多い地区です。平成 29 年度 4 月 1 日時点では、高齢者数 3,961 人（高齢化率 34.7%）、要介護等認定者数 780 人（要介護等認定率 19.7%）となっています。平成 26 年度 10 月 1 日現在と比較すると、要介護等認定者数はわずかに増加していますが、認定率は減少しているため、高齢者の心身の状態は、比較的良好であることがうかがえます。

II 地区（上頓野・東・感田校区）は、総人口が 25,228 人と市の中で最も人口が多い地区です。平成 29 年度では、高齢者数 7,194 人（高齢化率 28.5%）、認定者数 1,393 人（認定率 19.4%）と、高齢化率・認定率ともに、他の地区に比べて低くなっています。平成 26 年度と比較すると、要介護等認定者数はわずかに増加していますが、認定率は減少しています。I 地区と同様に、高齢者の心身の状態は、比較的良好であることがうかがえます。

III 地区（南・西・北校区）は、総人口が 10,732 人と市の中で 3 番目に人口が多い地区となっています。平成 26 年度から平成 29 年度までに総人口が 1,107 人減少している一方で、高齢化率は 31.0%から 33.7%と 2.7 ポイント増加しており、高齢化の進行が顕著にみられます。また、後期高齢化率は 18.3%と市の中で最も高くなっています。後期高齢者の増加により、今後、外出困難者や地域社会から孤立した環境下で生活する高齢者が増えることが懸念されます。

IV 地区（下境・福地・中泉校区）は、総人口が 9,864 人と市の中で最も人口が少ない地区です。平成 26 年度から平成 29 年度までに総人口が 397 人減少している一方で、高齢化率は 31.6%から 35.0%と 3.4 ポイント増加しており、急速に高齢化が進行しています。認定者数は平成 26 年度から 45 人増加し 831 人であり、認定率は 24.1%と市の中で最も高くなっています。今後、高齢化の進行に伴う要介護等認定者の増加が懸念されますが、他の地区に比べて前期高齢者と後期高齢者の数が均衡していることを活かし、元気な高齢者が支援や介護を必要とする高齢者を支えるといった、高齢者同士の支え合い・助け合いの取組を検討することが可能と考えられます。

■平成26年度 10月1日現在

	総人口 (人)	高齢者人口		高齢化率		認定者数 (人)	認定率	
		(人)	前期高齢者 (人)	後期高齢者 (人)	後期高齢化率			
I地区 (新入・植木校区)	11,172	3,633	1,836	1,797	32.5%	16.1%	767	21.1%
II地区 (上頓野・東・感田校区)	24,815	6,686	3,377	3,309	26.9%	13.3%	1,371	20.5%
III地区 (南・西・北校区)	11,839	3,665	1,678	1,987	31.0%	16.8%	793	21.6%
IV地区 (下境・福地・中泉校区)	10,261	3,246	1,646	1,600	31.6%	15.6%	786	24.2%
市全体	58,087	17,230	8,537	8,693	29.7%	15.0%	3,717	21.6%



■平成29年度 4月1日現在

	総人口	高齢者人口		高齢化率		認定者数	認定率	
			前期高齢者	後期高齢者	後期高齢化率			
I地区 (新入・植木校区)	11,407	3,961	1,928	2,033	34.7%	17.8%	780	19.7%
II地区 (上頓野・東・感田校区)	25,228	7,194	3,493	3,701	28.5%	14.7%	1,393	19.4%
III地区 (南・西・北校区)	10,732	3,617	1,656	1,961	33.7%	18.3%	774	21.4%
IV地区 (下境・福地・中泉校区)	9,864	3,451	1,708	1,743	35.0%	17.7%	831	24.1%
市全体	57,231	18,223	8,785	9,438	31.8%	16.5%	3,778	20.7%

■圏域別高齢者数等の推移比較 (H29-H26)

	総人口	高齢者人口		高齢化率		認定者数	認定率	
			前期高齢者	後期高齢者	後期高齢化率			
I地区 (新入・植木校区)	235	328	92	236	2.2ポイント	1.7ポイント	13	-1.4ポイント
II地区 (上頓野・東・感田校区)	413	508	116	392	1.6ポイント	1.3ポイント	22	-1.1ポイント
III地区 (南・西・北校区)	-1,107	-48	-22	-26	2.7ポイント	1.5ポイント	-19	-0.2ポイント
IV地区 (下境・福地・中泉校区)	-397	205	62	143	3.4ポイント	2.1ポイント	45	-0.1ポイント
市全体	-856	993	248	745	2.2ポイント	1.5ポイント	61	-0.8ポイント

資料：庁内資料



## 2. 要介護認定の状況

### (1) 要介護認定者等の状況

市の要介護等認定者は増加傾向にあり、平成29年3月末で3,778人、認定率は20.9%となっています。要介護度別で見ると、平成24年から平成29年にかけて、要支援認定者は減少傾向、要介護認定者は増加傾向となっています。特に、要介護1～要介護3の増加が顕著にみられます。要支援認定者の状態が悪化・重症化していることにより、要支援から要介護へと移行され、要介護認定者が増加している可能性が考えられます。

要介護等認定率を比較すると、本市では概ね21.0%前後を推移しており、福岡県の認定率を約2%上回って推移しています。また、県内保険者のうち、総人口が本市と同一規模（5万5千人規模）である朝倉市・古賀市と比較すると、朝倉市では18%前後、古賀市では14%前後で推移しています。そのため、本市では要介護等認定を受けている高齢者は多いことがうかがえます。

【認定者数の状況】

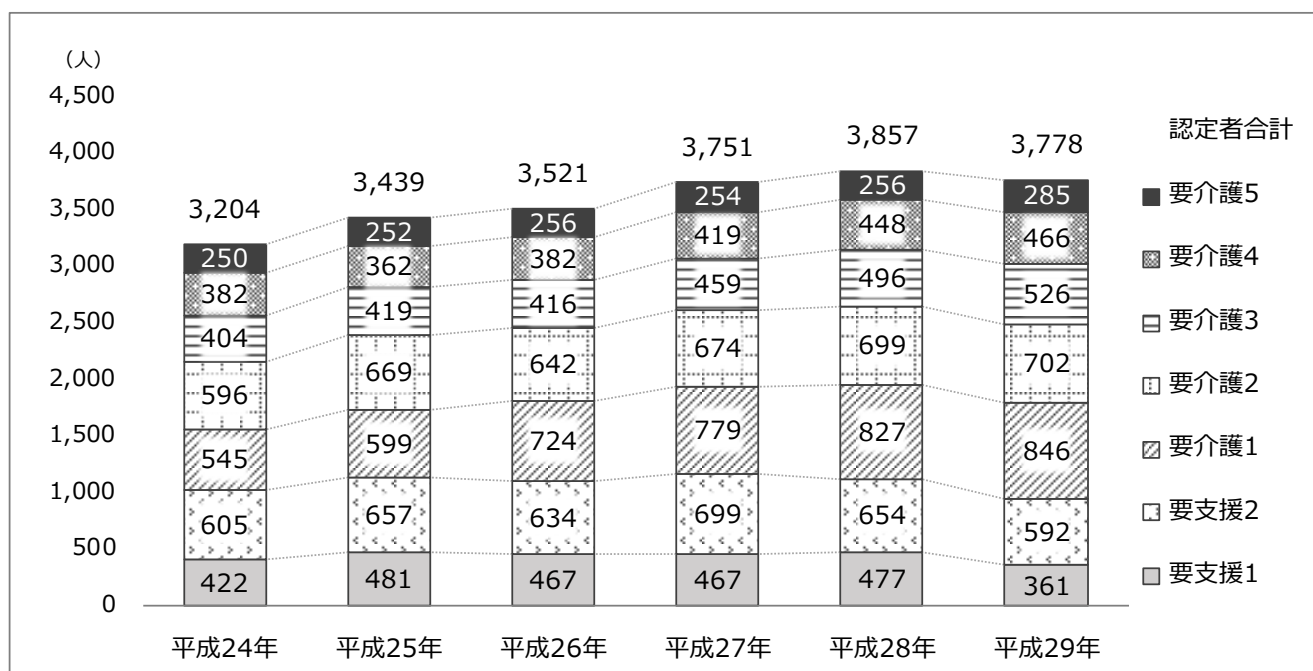
単位:人

	平成24年		平成25年	平成26年	平成27年	平成28年		平成29年		H29-H24 増減	
	人数	構成比	人数	人数	人数	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
第1号被保険者	15,997	-	16,458	16,868	17,454	17,883	-	18,118	-	2,121	-
要支援1	422	13.2%	481	467	467	477	12.4%	361	9.6%	-61	-3.6%
要支援2	605	18.9%	657	634	699	654	17.0%	592	15.7%	-13	-3.2%
要支援認定者計	1,027	32.1%	1,138	1,101	1,166	1,131	29.4%	953	25.3%	-74	-6.8%
要介護1	545	17.0%	599	724	779	827	21.4%	846	22.4%	301	5.4%
要介護2	596	18.6%	669	642	674	699	18.1%	702	18.6%	106	0.0%
要介護3	404	12.6%	419	416	459	496	12.9%	526	13.9%	122	1.3%
要介護4	382	11.9%	362	382	419	448	11.6%	466	12.3%	84	0.4%
要介護5	250	7.8%	252	256	254	256	6.6%	285	7.5%	35	-0.3%
要介護計	2,177	67.9%	2,301	2,420	2,585	2,726	70.6%	2,825	74.7%	648	6.8%
認定者合計	3,204	100.0%	3,439	3,521	3,751	3,857	100.0%	3,778	100.0%	574	0.0%
認定率	20.0%	-	20.9%	20.9%	21.5%	21.6%	-	20.9%	-	-	-

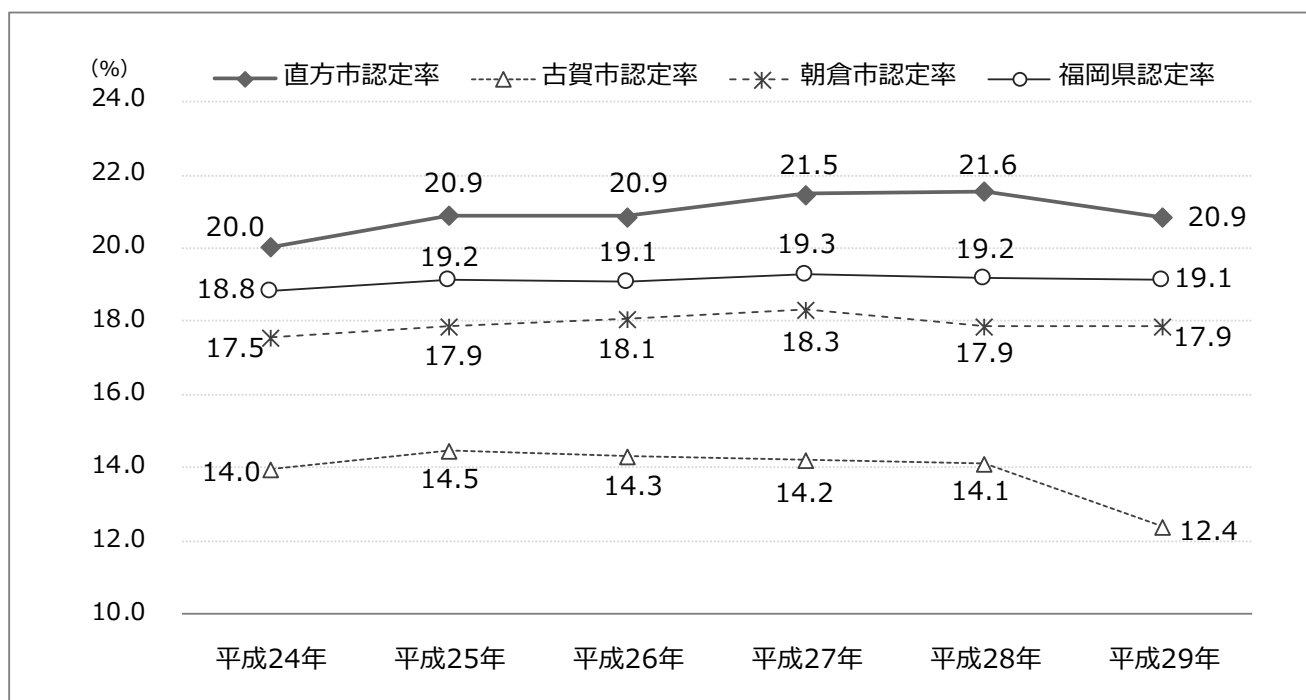
構成比：認定者数の構成比

資料：介護保険事業状況報告（各年3月末現在）

【認定者数の状況（直方市）】



【認定率の比較（直方市・古賀市・朝倉市・福岡県）】



資料：介護保険事業状況報告（各年3月末現在）

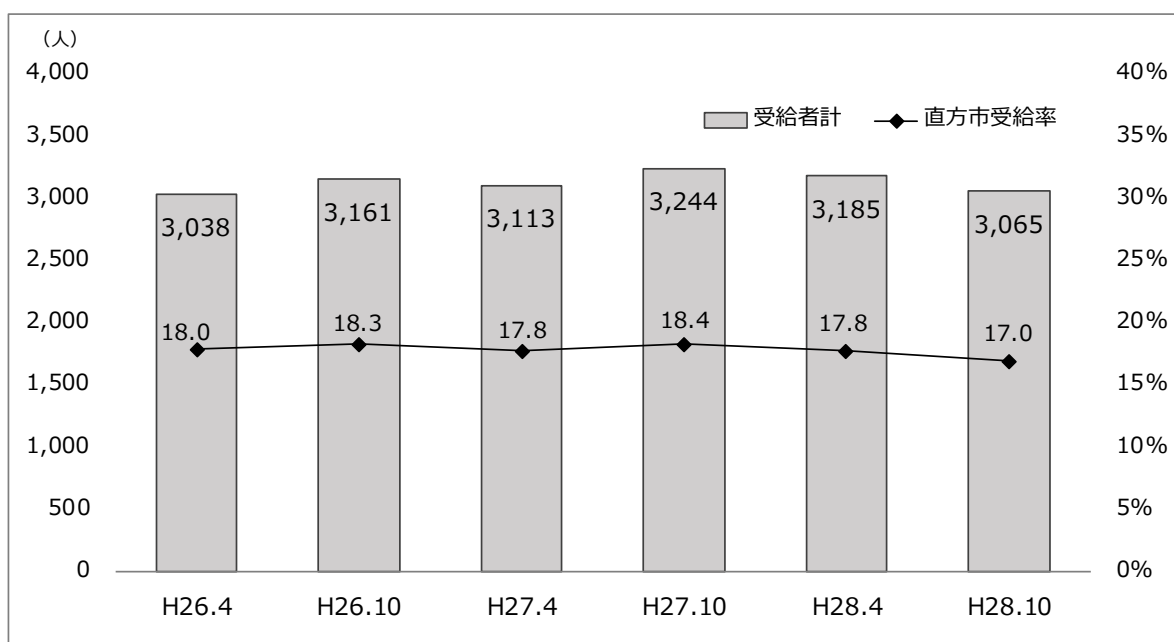
総人口5万5千人規模の県内保険者（古賀市・朝倉市）と比較

## (2) サービス受給者の状況

市の在宅サービス、施設・居住系サービスの受給者数は、概ね3,000人程度で推移しています。受給率は平成27年10月をピークに、その後減少しています。

在宅サービスでは、要支援1・2は減少傾向となっています。要支援認定者の訪問介護・通所介護が介護予防・日常生活総合支援事業へ移行したことが影響していると考えられます。また、年次によってばらつきは見られますが、要介護1～3の受給者数が増加傾向です。

【受給者数・受給率の推移】



資料：介護保険事業状況報告

算出：直方市受給率（受給者計÷第1号被保険者）

【受給者数・受給率の推移（要介護度別）】

	H26.4	H26.10	H27.4	H27.10	H28.4	H28.10
第1号被保険者	16,901	17,237	17,479	17,649	17,903	17,995
要支援1	335	321	293	315	284	195
要支援2	523	539	535	555	494	376
要介護1	645	700	659	682	685	713
要介護2	595	610	618	638	643	673
要介護3	379	419	423	444	461	481
要介護4	353	352	380	393	388	382
要介護5	208	220	205	217	230	245
受給者計	3,038	3,161	3,113	3,244	3,185	3,065
直方市受給率	18.0	18.3	17.8	18.4	17.8	17.0

資料：介護保険事業状況報告

算出：直方市受給率（受給者計÷第1号被保険者）

■在宅サービス受給者数

	H26. 4	H26. 10	H27. 4	H27. 10	H28. 4	H28. 10
第1号被保険者	16,901	17,237	17,479	17,649	17,903	17,995
要支援1	326	311	284	301	272	186
要支援2	508	527	523	540	472	354
要介護1	556	615	566	587	583	616
要介護2	448	472	474	512	536	544
要介護3	201	240	238	240	247	278
要介護4	147	146	156	166	158	150
要介護5	82	100	90	92	95	88
受給者計	2,268	2,411	2,331	2,438	2,363	2,216
直方市受給率	13.4	14.0	13.3	13.8	13.2	12.3
福岡県受給率	11.3	11.5	11.3	11.5	11.1	11.1

■施設サービス受給者数

	H26. 4	H26. 10	H27. 4	H27. 10	H28. 4	H28. 10
第1号被保険者	16,901	17,237	17,479	17,649	17,903	17,995
要支援1	0	0	0	0	0	0
要支援2	0	0	0	0	0	0
要介護1	37	42	42	40	54	46
要介護2	86	79	81	65	61	70
要介護3	125	125	121	139	148	136
要介護4	158	152	167	175	170	178
要介護5	97	99	90	95	99	111
受給者計	503	497	501	514	532	541
直方市受給率	3.0	2.9	2.9	2.9	3.0	3.0
福岡県受給率	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	2.9

■居住系サービス受給者数

	H26. 4	H26. 10	H27. 4	H27. 10	H28. 4	H28. 10
第1号被保険者	16,901	17,237	17,479	17,649	17,903	17,995
要支援1	9	10	9	14	12	9
要支援2	15	12	12	15	22	22
要介護1	52	43	51	55	48	51
要介護2	61	59	63	61	46	59
要介護3	53	54	64	65	66	67
要介護4	48	54	57	52	60	54
要介護5	29	21	25	30	36	46
受給者計	267	253	281	292	290	308
直方市受給率	1.6	1.5	1.6	1.7	1.6	1.7
福岡県受給率	1.5	1.5	1.4	1.5	1.4	1.5

資料：介護保険事業状況報告

### 3. 施設等の整備状況

市の介護保険施設等の整備状況は、居住系サービスが合計で 27 ヶ所、定員 624 人となっています。認知症対応型共同生活介護は計 8 ヶ所、そのうち、Ⅱ地区に 4 ヶ所が整備されています。

通所系サービスは合計で 38 ヶ所、定員 1,335 人となっています。中でも、通所介護は計 27 ヶ所、定員 900 人となっています。

施設サービスは合計で 10 ヶ所、定員 558 人となっています。

#### 【市・日常生活圏域別の施設等整備状況】

区分	市全体		Ⅰ地区 (新入・植木校区)		Ⅱ地区 (上頓野・東・感田 校区)		Ⅲ地区 (南・西・北校区)		Ⅳ地区 (下境・福地・中泉 校区)		
	整備ヶ所 (数)	定員 (人)	整備ヶ所 (数)	定員 (人)	整備ヶ所 (数)	定員 (人)	整備ヶ所 (数)	定員 (人)	整備ヶ所 (数)	定員 (人)	
居住系 サービス	特定施設入居者生活介護	6	389	1	110	2	86	2	143	1	50
	認知症対応型共同生活介護	8	81	1	9	4	45	1	9	2	18
	地域密着型特定施設入居者生活介護	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	夜間対応型訪問介護	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小規模多機能型居宅介護（宿泊）	2	18	0	0	0	0	1	9	1	9
	小規模多機能型居宅介護（通い）	2	30	0	0	0	0	1	15	1	15
	地域密着型通所介護	9	106	2	20	3	43	3	35	1	8
	看護小規模多機能型居宅介護	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	27	624	4	139	9	174	8	211	6	100	
通所系 サービス	通所介護	27	900	5	132	12	332	4	242	6	194
	通所リハビリテーション	9	420	1	130	3	180	4	80	1	30
	認知症対応型通所介護	2	15	1	12	1	3	0	0	0	0
	合計	38	1,335	7	274	16	515	8	322	7	224
施設 サービス	介護老人福祉施設	4	230	1	50	2	130	0	0	1	50
	介護老人保健施設	5	325	1	50	3	175	0	0	1	100
	介護療養型医療施設	1	3	0	0	0	0	1	3	0	0
	地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	合計	10	558	2	100	5	305	1	3	2	150
その他の 入所施設	養護老人ホーム	1	60	0	0	0	0	0	0	1	60
	軽費老人ホーム	4	190	1	50	2	100	0	0	1	40
	有料老人ホーム	4	152	1	50	1	25	1	35	1	42
	サービス付高齢者住宅	6	330	1	50	4	234	0	0	1	46
計	90	3,249	16	663	37	1,353	18	571	19	662	

資料：庁内資料